

最近の県内景気動向

平成 13 年 4 月 27 日
日本銀行水戸事務所

～景気回復、足取りは一段と鈍化～

最近の管内経済動向をみると、米国経済の減速等を背景に製造業の一部で生産調整の動きがみられるほか、新規求人の伸びもひと頃に比べ小幅となるなど、景気回復の足取りは一段と鈍っている。こうした状況下、これまで改善を続けていた企業の景況感、製造業を中心に下向きに転じている。

《 個人消費 》

■ 3月の大型小売店の売上

中旬以降の気温上昇に伴い春物衣料に動きがみられたものの、食料品、雑貨等が依然低調なため、全体では引き続き前年割れ（前年比▲3.2%）となった。

■ 3月の乗用車新車登録台数

新型車投入効果から普通車（前年比+5.4%）、小型車（同+2.0%）ともに、前年を上回った（同+3.3%）。

■ 3月の家電販売

特定家庭用機器再商品化法（所謂家電リサイクル法）対象商品（冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコン）に駆け込み需要がみられたことから、全体では前年を大幅に上回った。

■ 3月の旅行取扱状況

ゴールデンウィークの予約は、国内、海外ともに、取扱件数は前年をやや上回っているものの、曜日配列の関係から近場で短期間の旅行が多いほか、依然低価格志向が強いことから、取扱金額は前年並みに止まっている。

《 公共・住宅投資 》

■ 3月の公共工事請負金額

国（前年比▲24.5%）、県（同▲11.4%）が前年比減少したものの、公団・事業団（同 4.8 倍）による大型工事の発注がみられたことから、全体では前年を上回った（同+7.4%）。

■ 2月の新設住宅着工戸数

貸家（前年比+19.8%）が大幅増となったものの、主力の持家（同▲10.7%）が昨年末以降水準をやや落としており、全体では前年をやや下回った（同▲1.2%）。

《 生産動向 》

■ 1月の鉱工業生産

引き続き前年を上回る水準を維持したが、輸出や半導体関連受注の減少等を映じて操業度をやや引下げる動きが、電気機械、一般機械等でみられた（生産指数前月比：▲0.1%（原指数前年比+3.3%））。

■ 1月の出荷

一般機械、プラスチック製品等の減少を主因にマイナスとなった（出荷指数前月比：▲4.2%（同▲2.4%））。

■ 1月の在庫

電気機械の大幅な増加を主因に、引き続き前年を上回った（在庫指数前月比：+0.1%（同+5.3%））。

《 雇用動向 》

雇用保険受給者数が減少傾向にあるものの、3月の有効求人倍率は、新規求人の伸びが鈍化したことからやや低下した。

《 企業倒産 》

3月の企業倒産（負債総額 10 百万円以上の件数、負債総額合計）をみると、件数（15 件）、金額（45 億円）ともに、前年（16 件、66 億円）を下回ったものの、引き続き高水準にある。

茨城県主要経済指標

（前年比、%）

	12年	13/1	13/2	13/3
大型小売店売上高	▲6.2	▲1.9	▲7.5	▲3.2
乗用車新車登録台数				
[除く軽]	2.2	4.3	4.3	3.3
[含む軽]	3.2	1.9	0.3	2.9
渡航者数 [観光]	6.9	9.2	n.a.	n.a.
公共工事請負金額	▲7.5	▲11.9	48.6	7.4
新設住宅着工戸数	▲10.7	▲8.5	▲1.2	n.a.
[持家]	▲3.7	▲10.8	▲10.7	n.a.
産業用電力消費量	5.4	4.1	1.7	1.6
[大口電力]	5.8	4.3	1.0	2.2
鉱工業指数 [生産]	—	3.3	—	—
鉱工業指数 [出荷]	—	▲2.4	—	—
鉱工業指数 [在庫]	—	5.3	—	—
有効求人倍率 (倍)	0.65	0.73	0.72	0.69
常用雇用 (指数)	98.9	n.a.	n.a.	n.a.
1人当たり名目賃金 (指数)	98.0	n.a.	n.a.	n.a.
所定外労働時間	1.9	n.a.	n.a.	n.a.
倒産件数	13.1	▲12.5	55.6	▲6.3